４．居住区画などの整理

（１）避難所全体のレイアウト

　　レイアウトを検討する際に考慮すべき事項は次のとおりです。

●体調不良者専用のスペース（可能な限り個室）、トイレを確保する

●体調不良者専用のスペースまでの動線を一般の避難者と

分ける

●同じ兆候・症状のある人々を同室にまとめることはしない

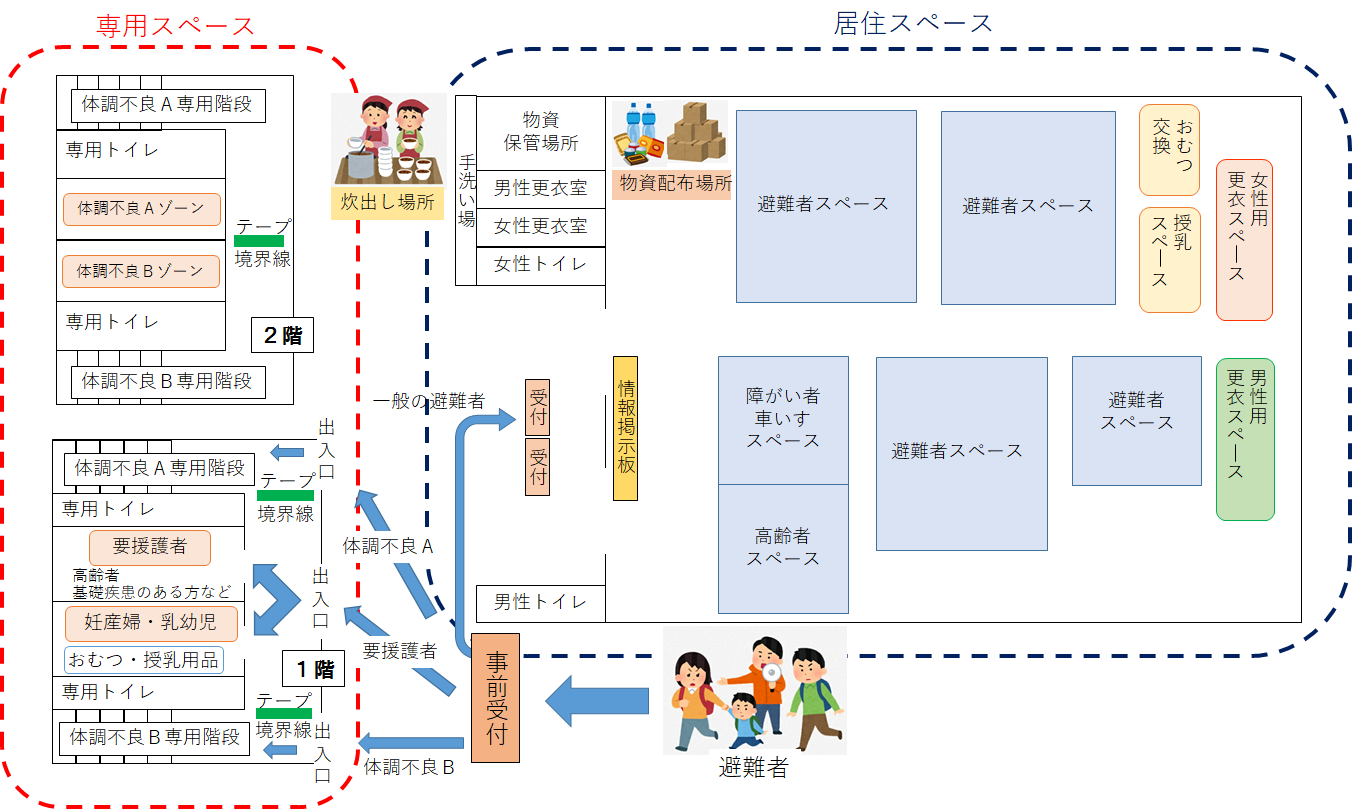
⇒他の病気の方を感染させてしまう可能性があるため。やむを得ず同室とする際は、パーティション等を使用する。

※神奈川県が作成した「新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉」（「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営ガイドライン」より）を参考とした避難所全体のレイアウト例を次ページに示します。

注意

レイアウト例はあくまで参考です。実際は施設の状況等を踏まえて、可能な限り対策を行うように心がけてください。

レイアウト例



８

（２）居住スペースのレイアウト

【開設直後～数日】

　開設直後～数日は、避難者の出入りが激しくなることが予想されます。レイアウト変更ができるようにテープなどを使った区画整理を行いますが、区画同士の距離を取ることで感染予防を図ります。

手順

1. １家族２～３名避難してきた場合を想定し、３ｍ×３ｍ程度の区画でレイアウトを作成する。

（単身で避難してきた方が多い場合には、２ｍ×２ｍ程度の区画とする。）

1. 区画が避難者にもわかりやすいよう、養生テープや椅子等の目標物を利用した区画表示を行う。
2. 区画ごとに管理番号を設定する（受付時に管理番号で滞在場所を案内するため）。
3. 滞在場所内で感染リスクが高い方（高齢者、妊産婦、基礎疾患をお持ちの方など）とその他の方を離した区画割を検討する。
4. 避難世帯（家族）同士は、１ｍ以上あける。

【区画表示例】

《養生テープによる区画表示》　　　　　　　《椅子を活用した区画表示》

3ｍ

3ｍ

①　　　　②　　　　 ③

④　　　　⑤　　　　 ⑥

1～2ｍあける

※テープで角だけ貼れば短時間で

区画づくりが可能



※この場合、椅子の周囲を１区画とし、隣接する区画

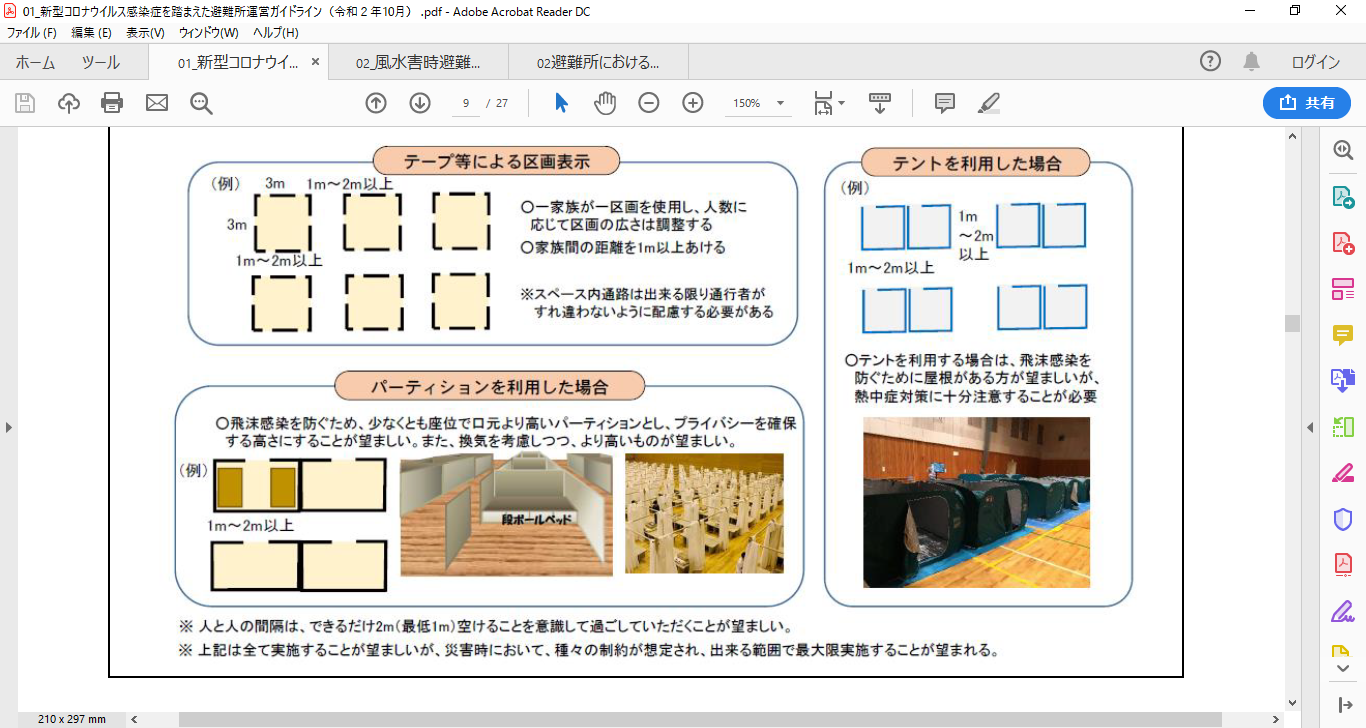
（椅子）と１ｍ以上の間隔をとるよう避難者に周知する

【開設後数日～】

　避難者がある程度の期間滞在することを想定し、パーティションやテント等を使って、区画同士を仕切ることで感染症予防を図ります。

　※相模原市では特定の倉庫への集中備蓄や神奈川県からの支援により、パーティションやテントの確保を行っています。必要に応じて、現地対策班に連絡してください。





神奈川県「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営ガイドライン」より引用

（３）専用スペースのレイアウト

　体調不良者の専用スペースは個室であることが望ましいですが、用意ができない状況であれば、避難者同士の接触を減らすために仕切りを使います。また、換気を十分に行えるように配慮します。

【同室管理する場合のイメージ】

ロッカー

窓

窓

出入口

出入口

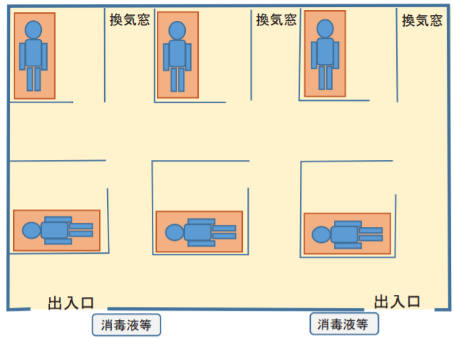


①

②

③

④



机などパーティションの

代用となるものを活用

してください。

※学校の備品を使用する

場合は、必ず施設管理者

の許可を得てください。

《令和２年６月10日府政防

第1262号より引用》

※パーティション・テントが使用可能なとき

※パーティション・テントが使用できないとき

（４）避難所での車中泊について

　通常は、エコノミークラス症候群発症予防の観点から、車中泊は推奨していません。また、避難所は原則として駐車禁止です。（避難所運営マニュアル51ページ、52ページ参照）

　しかし、新型コロナウイルスの感染予防には、避難者同士の間隔を十分に確保する必要があり、体育館や教室等だけでは居住区画のスペースが不足する状況となることも考えられます。

「避難所敷地内での車中泊を認めた方が良い状況」となった場合は、次の項目を参考に避難所運営協議会で検討を行ってください。

【車中泊避難者を避難所で受け入れる際の検討事項】

1. 駐車スペースが確保できるか

業務用車両の導線及び作業の妨げにならない場所を駐車場とします。設備の破損を避けるため、必ず施設管理者と協議して、スペースが確保できるかを検討してください。

(例：学校の校庭にあるスプリンクラーの上を車が通過すると、破損の原因になります)

1. 避難者の管理ができるか

エコノミークラス症候群発症予防の啓発（避難所運営マニュアル115ページ参照）が必要です。また、居住区画とは別の場所で生活していただくことになるので、支援や避難所運営などに関する案内（「支援物資の配付を１０時から始める」、「視聴覚室を男性更衣室にする」など）が伝わるようにします。また、防犯対策として、施錠の徹底を呼び掛けるとともに、駐車場は夜間パトロールの対象にする必要があります。（避難所運営マニュアル83ページ参照）

※車中泊避難者同士で協力していただき、お互いの健康管理、情報伝達、車両周辺の清掃などを行ってもらうことも効果的です。